

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月1日

事業所名 オールケア大日(重心)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		物の場所を変えるなどの工夫	利用児様に合わせた環境作りをしています
	2	職員の配置数は適切である	○		他部署との連携	より良い充実した支援のため人材確保していきます
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		おもちゃや絵本など手の届く場所に置いている	バリアフリー化ができており生活空間においても安全面に配慮したつくりになっています
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		その日の利用児に合わせた生活空間を作っている	ホールからトイレに至るまで靴を脱いで生活できるよう清潔を保っています 今後も整理整頓を心がけます
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		担当者会議で設定や振り返りを行っている	日々の振り返りは終礼で行っています
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		頂いた意見は検討し、全スタッフに周知している	アンケート又は直接意見をいただき、検討し業務改善を行っています
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年ホームページに公開している	今後もホームページに公開していきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	内部監査を受け改善につなげている	内部監査の評価結果を改善につなげていきます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部、外部の各種研修に参加している	月2回の内部研修に加えAED研修、虐待研修など様々な研修を行っています 外部研修にもできるだけ多く参加しています
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		スタッフ間で話し合い、情報を共有している	定期的にモニタリングを行い、アンケートでもニーズの把握に努め、課題を分析したうえで個別計画を作成しています
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所に合わせたアセスメントシートを作成している	必要時見直しを行い、より使いやすいものに改善していきます
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		保護者のニーズを把握し具体的な計画を立てて実行している	日常生活における訓練、創作活動、レクレーションなど児童発達支援ガイドラインに沿って適切な支援内容を設定するよう引き続き行っていきます
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		3ヶ月後に中間評価を行い見直している	個々のニーズを踏まえて内容の充実を図っていきます
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士たちで立案している	立案後には全スタッフで検討し実施しています
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月新しい活動を取り入れている	今後も発達や特性に合わせ工夫、改善を図っていく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		日によって個別と集団の活動を取り入れている	個々の発達に合わせた活動を充実させていきます

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングで確認している	朝のミーティング時、予定表に基づきスタッフの分担や注意点などを具体的に確認しています
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時その日の振り返りを行い、その日気づいた点を話し合い議事録に記入している	ミーティングにてスタッフ間で振り返り、改善を行い全員に周知共有しています
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援を記録している	専門職ごとに毎日記録を行い、振り返りをしています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		3ヶ月に1度モニタリングを行っている	今後も定期的にモニタリングを行い改善につなげていきます
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が参加している	今後も情報共有を行っていきます
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要時行っている	今後も必要に応じ関係機関と連携を密にしています
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		関係機関と連携している	市役所、保健所、相談支援など関係機関と連携を取り支援を行っています
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		毎月協力医療機関の医師の巡回があり連携体制を整えている	指示書を更新変更等確認していきます
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて情報を共有している	ケースに応じ情報共有と相互理解を図り支援につなげていきます
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要時行っている	ケースに応じ情報共有と相互理解を図り支援につなげていきます
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修などには積極的に参加し情報交換や助言を受けている	助言をいただいたことを全スタッフに周知し、取り入れ行っています
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	地域のお祭りなどの機会を活用し交流しています	地域のお祭りの機会や外出の機会、スタッフが子供を連れて遊びに来るなど一緒に遊べる機会を増やしていきます
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	交流会などには参加している	今後も積極的に参加していきます
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートを通じて状況の共通理解を行っている	連絡ノートにその日の様子を記入し、送迎時直接話もします また面談やモニタリングでも共通理解を図っています
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		面談時などに必要に応じた支援を行っている	今後も送迎時や面談時などに直接個々に応じた支援を行っていきます	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・重要事項説明時や面談時などに行っている	変更があればその都度説明を行います	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		計画は保護者の同意を得て実行しています	把握した保護者のニーズと合わせて計画を作成し、面談時説明を行い同意を得ています	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時や送迎の際に対応している	相談を受けた場合には丁寧に応じ、助言や支援を行っています
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	行事を通して家族様を招き、交流の場を設けている	たくさんの家族様が参加できるように工夫が必要であり課題となっています
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		対応の体制は整えてあります	相談や申し入れがあった場合には、責任者が速やかな対応を心がけています
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページで事業所内容を発信している	継続し、こまめにホームページに載せていきます 引き続き毎月機関誌も発行していきます
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報の管理については定期的に職員に対して注意喚起している	取扱いに十分注意していきます
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		こまめに対面するよう心掛けている	契約書や重要事項説明書はルビ版、拡大版を用意しています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		お祭り行事等の前にチラシを配布したり、近隣の家には挨拶に行っている	地域に開かれた事業所とするため、行事前にはチラシを配り近隣への説明と挨拶回りを継続していきます
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを作成している	保護者の方にも周知徹底を行っています
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		施設全体では年2回、児童は毎月訓練内容を変え実施している	今後も続けていきます 今年には水害訓練も行いました
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に確認している	変更時など確認し、情報の共有を行っています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様を通じて行っている	今後も記録に残し確認していきます
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイリングし共有している	グループ内の他事業所のヒヤリハット事例も共有しています
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年研修に参加している	虐待防止の観点から全員参加の研修を継続していきます
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		安全ベルト使用に関して個別支援計画に記載し、連絡帳にも記載している	バギーやチャイルドシート使用時の安全ベルト使用に関しては、保護者に十分説明し個別支援計画に記載し、連絡ノートにも開始時間・解除時間を記入しています

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 オールケア大日(重心)

保護者等数(児童数) 5 回収数 4 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	4					ホールの使い方を工夫し有効に活用します
	2 職員の配置数や専門性は適切である	4					各専門分野の研修にも参加し、職員のスキルを高めていきます
	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3			1		玩具や絵本など手の届くところに置き、棚の角などクッション素材を使用しています 今後も安全面には十分注意し、改善を行っていきます
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4					整理整頓を心がけ常に清潔を保つよう努力します その日の活動に合わせた空間づくりに努めます
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	4					モニタリングやアンケートをもとに、ニーズの把握に努め計画に反映させていきます
	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4					今後もガイドラインに沿った対応、支援をしていきます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4					担当者会議、中間評価などで振り返りを行い検討しています
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	4					毎月新しい活動を取り入れるようにしています
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1		1	2		公園やお祭りなどで接する機会はありますが、もっと地域交流の機会を設けていきたいと思っています
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	4					今後も丁寧な対応を行っていきます
	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	4					今後も丁寧な説明を心がけていきます
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	2		1	1		今後も個々に応じた必要な支援を行っていきます
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4					送迎時や電話でお伝えしています 今後も対話を多くし共通理解をした上でよい支援につなげていきます
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	4					支援計画交付時面談させていただいています
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2		1	1		年2回保護者会を行っていますが、今年度は実施できていません 内容の充実を図り行っています
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3			1		責任者中心にその日のうちに対応するよう心掛けています
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4					より良いコミュニケーションが取れるように、細やかな対話を心がけていきます	

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4					行事ごとにホームページを更新していることを伝えていき、毎月の機関誌発行も続けていきます
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	4					引き続き、取り扱いには十分注意していきます
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4					全保護者様が周知できるように伝えていきます
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	4					全体で年2回、児童は毎月行っています
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	3			1		楽しく安全に過ごしていただけるよう、職員のスキルを上げていきます
	23	事業所の支援に満足している	4					今後も家族様利用児童の思いに寄り添い、楽しく安全に過ごしていただけるよう努力していきます

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年2月1日

事業所名 オールケア大日(重心)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用児に合わせた環境作りをしている	医療的ケアの人たちを近くに配置するなど、部屋のスペースを最大限広く活用します
	2 職員の配置数は適切である	○		必要時応援を要請している	より良い充実した支援の為、人材確保していきたいと思っています
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子の数により狭くなっている時があるが考えて置くようにしている	その日使わないバギーなどは倉庫にしまっています
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		担当者会議で設定や振り返りを行っている	3か月に1度担当者会議を行い、スタッフ間で意見を出し合い振り返りを行っています
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		頂いた意見は検討し全スタッフと話し合っている	アンケート又は直接意見をいただき、検討し業務改善を行っています
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、ホームページに公開しています	今後もホームページに公開していきます
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	内部監査で業務改善に努めている。	内部監査の評価結果を改善につなげていきます
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		内部、外部の各種研修に参加している	月2回の内部研修に加えAED研修、虐待研修など様々な研修を行っています。外部研修にもできるだけ多く参加しています	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		スタッフ間で話し合い、情報を共有している。	定期的にモニタリングを行い、アンケートでもニーズの把握に努め、課題を分析したうえで個別計画を作成しています
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所に合わせたアセスメントシートを作成している	必要時見直しを行い、より使いやすいものに改善していきます
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士たちで立案している	立案後には、全スタッフで検討し実行しています
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		新しい活動と利用児の好きな活動両方取り入れるようにしている。	毎月新しい活動を取り入れるなど、固定化しないよう検討しています
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		1人1人の応じた計画を立てて行っている。	長時間ならでの活動や、季節に応じた活動を今後も行っています
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日によって個別と集団の活動を取り入れている。	個々の児童の発達や特性を把握し、状況に合わせた支援内容を決定していきます
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングで確認している	朝のミーティング時、予定表に基づきスタッフの分担や注意点などを具体的に確認しています
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時、その日の振り返りをし、その日気づいた点を話し合い、議事録に記入している	ミーティングにてスタッフ間で振り返り、改善を行い、全員に周知・共有しています
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		行った支援の記録をしている	専門職ごとに毎日記録を行い、振り返りをしています
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的(3か月)に実施している	今後も定期的にモニタリングを行います
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		一人ひとりの状態に即した計画を立てて支援している	日常生活における訓練、創作活動、レクリエーションなどガイドラインに沿った支援を今後も行っています

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	児童発達支援管理責任者が参加している	児童発達支援管理責任者や直接関わっているスタッフ等相談支援事業所の協議や担当者会議に参画していきます
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	学校主催の話し合いに参加、ホームページでの情報交換を行っています	年間予定や行事計画を把握し保護者との連携も密にしながら連絡調整に努めています
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	家族様を通して指示書を頂いています	指示書を更新変更等確認していきます
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	必要に応じて情報を共有している	必要時は園を訪問したり、相談支援を通じて児童の理解に繋がられるよう連携しています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	希望があれば家族様に了解を得てから応じています	施設内の生活介護と情報を共有し、卒業される前に介助の仕方を学んでもらっていますほかの事業所とも必要に応じ情報を共有しています
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	研修などには積極的に参加し情報交換や助言を受けています	助言を頂いたことを全スタッフに周知し、取り入れ行っています
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	地域のお祭りなどの機会を活用し交流させて頂いています	地域のお祭りの機会や外出の機会、スタッフが子供を連れて遊びに来るなど一緒に遊べる機会を増やしていきます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	交流会などには参加している	積極的に参加できる機会を作っていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	連絡帳や送迎時の申し送りで共通理解を図っている	連絡ノートにその日の様子を記入し、送迎時直接話します また、面談やモニタリングでも共通理解を図っています
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	面談時などに必要に応じた支援を行っている	今後も送迎時や面談時などに直接個々に応じた支援を行っていきます	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約・重要事項説明時やその他に面談時に行っている	変更があればその都度説明を行います
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	面談時や送迎の際に対応している	相談を受けた場合には丁寧に応じ、助言や支援を行っています
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	行事を通して家族様を招き交流の場を設けている	たくさんの家族様が参加できるように工夫が必要であり課題となっています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	すぐに責任者が対応し、適切に対応している	児童発達支援管理責任者中心に保護者様との関係性の構築に努力すると共に苦情があった場合には、直接訪問を原則に速やかに対応しています
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	ホームページで事業所内容を発信している	継続し、こまめにホームページに載せていきます 引き続き毎月機関誌も発行していきます
	35	個人情報に十分注意している	○	個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしている。	取扱いに十分注意していきます
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	こまめに対面するよう心掛けている	契約書や重要事項説明書はルビ版、拡大版を用意しています
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	お祭り行事等の前にチラシを配布したり、近隣の家には挨拶に行き参加して頂いている	地域に開かれた事業所とするため、行事前にはチラシを配り近隣への説明と挨拶回りを継続していきます

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを作成している	保護者の方にも周知徹底を行っていきます
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		施設全体では年2回、児童は毎月訓練内容をかえ、実施している	今後も続けて行っていきます 今年の水害訓練も行いました
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、研修に参加している	虐待防止の観点から、全員参加の研修を継続していきます
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		安全ベルト使用に関して個別支援計画に記載し、連絡帳にも記載している	バギーやチャイルドシート使用時の安全ベルト使用に関しては保護者に十分説明し、個別支援計画に記載し、連絡ノートにも開始時間・解除時間を記入しています
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時や面談時、保護者から聞き取りで食物アレルギー等の有無を確認している	食物アレルギーの把握をに対応していきます
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ファイリングし共有している	グループ内の他事業所のヒヤリハット事例も共有しています

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和2年2月1日

事業所名 オールケア大日 (重心)

保護者等数(児童数) 17

回収数15

割合 88%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15					ホールの使い方を工夫し有効に活用します
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15					各専門分野の研修にも参加し職員のスキルを高めていきます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	15					利用児様に合わせた工夫を常に行っています
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	14	1				保護者様との連絡を密にとり、ニーズの把握に努め計画に反映させていきます
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15					保育士が立案した活動をみんなで検討しています
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7	2	2		個々に合わせた活動プランの中で社会参加できる機会を増やしていけるよう努力します
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					今後も丁寧な対応を心がけていきます
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15					送迎時や面談時に多くの会話をもち共通理解に努めています
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15					今後も丁寧な対応を心がけていきます
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	5				保護者交流のあり方や内容を工夫していきたいと思っています
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	2		1		速やかに対応しています。今後も更に丁寧な対応を行っていきます
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15					今後も児発管中心に保護者様との連携を密にとり情報を共有していきます
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15					行事毎、ホームページを更新していることを保護者様に伝えていきます
14 個人情報に十分注意しているか	15					引き続き取り扱いには、十分注意していきます	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	15					全保護者様が周知できるように伝えていきます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15					全体で年2回、児童は毎月行っています
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15					楽しく安全に過ごしていただけるよう職員のスキルをあげていきます
	18 事業所の支援に満足しているか	14	1				今後も家族様、利用児様の思いに寄り添い、楽しく安全に過ごしていただけるよう努力していきます

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和2年2月1日

事業所名 オールケア大日 (重心外)

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		その日その日気づいた事話し合っている。	部屋の中での気づいた事をミーティングで話し合い改善している。
	2 職員の配置数は適切である	○		基準はみたしている。男性職員がいないので、必要時には応援要請している。	基準は、満たしていますが男性職員がいませんのでより充実した支援に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		車椅子等の置き場所を工夫している。	車椅子等の配置場所に工夫をすることで、動きやすくなっています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月、目標を貼りだし月末に振り返っている。	目標を貼りだして、実践・振り返りを重ねていく。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		頂いた意見は検討し全スタッフと話し合っている。	頂いた意見を検討後、全スタッフに周知改善できるように努めます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、ホームページに公開していません。	今後もホームページに公開していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		グループの内部監査で業務改善に努めている。	グループ内の内部監査での業務改善を務めていく。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		グループ内部や外部、各種の職員研修を実施している。	グループ内部や事業所の内部・外部各種の職員研修を実施し学んでいく。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		3か月1回モニタリングを行い、ニーズ等の聞き取りを行っている。	十分な時間をとり全スタッフ共有しながら個別支援計画作成していく。作成後もスタッフと共有し支援していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		3か月1回変更がないかを家族様に聞き取りを行っている。	変更がある度に変更を行い、全スタッフに伝え共有する。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		保育士が複数で立案し、他のスタッフに伝えている。	立案後には、全スタッフで検討し案を出し合い実践していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		スタッフ同志で話し合い、案を出し合っている。	ミーティング後に活動の話し合いをし固定化しないように工夫していく。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個々でどんな議題にするかを具体的に書き出し実践していく。	1人1人の計画を朝のミーティングの時に具体的に支援内容を伝え支援していく。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別と集団の活動を取り入れている。	個別・集団活動を具体的に考え実践していく。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		始業時に事前準備をし、始業時のミーティングにて、スタッフの役割・支援内容を確認している。	ミーティングにてスタッフ間で話合いを行っていく。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時、その日の振り返りを行い、その日気づいた点を話し合い、議事録に記入している。	ミーティングにてスタッフ間で振り返り、改善を行い、全員に周知・共有していく。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		1日1日具体的に決めた支援を記入し実践している。行った事を記録している。	担当者会議で密に話し合い、ヒヤリハットを活用しながら、日々の変化を共有していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的(3か月)に実施している。	今後も定期的にモニタリングを行う。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		一人ひとりの状態に即した計画を立てて支援している。	発達過程や特性、適応行動を理解し、支援に繋げる為、今後も研修を行っていく。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加をしている。	児童発達支援管理責任者や直接関わっているスタッフ等相談支援事業所の協議や担当者会議に参画していく。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校主催の話し合いに参加、ホームページでの情報交換を行っています。	学校によって情報共有できない事があるので、先生との連携を図っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		家族様を通して指示書を頂いています。	指示書を更新変更等確認していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて情報を共有している。	必要の時には、就学前利用施設に連絡し情報を共有し確認していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		希望があれば家族様に了解を得てから応じています。	個人情報保護に留意しつつ、継続した支援を行う為に必要な情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		発達支援の先生の巡回時、助言等を頂いている。	助言を頂いたことを全スタッフに周知し、取り入れ行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域のお祭りなどの機会を活用し交流させて頂いている。	交流する機会が少ない為、どう交流できるかをもっと考えていく必要がある。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		現在、参加できていない。	参加できていない為、参加するにはどうすれば良いのかしっかりと考える必要がある。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時の申し送り、電話にて伝えあっている。	今後も連絡帳や送迎時の申し送り、電話等でしっかりと伝え、6か月に一回の面談等でじっくりとお話をする。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		モニタリング時、必要に応じた支援をしています。	今後も積極的に行っていく。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約・重要事項説明時やその他に面談時に行っている。	変更があればすぐに説明をしていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		面談時や送迎の際に対応している。電話にて話をする事もある。	その日のうちに話す機会をもち、たくさん対話を増やしていく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		計画してしていたが実践できていない。	家族様の意見を聞きながら、どんな内容にするのかしっかりと考え具体的に考えていく必要がある。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		すぐに責任者が対応し、適切に対応をしている。	児童発達支援管理責任者中心に保護者様との関係性の構築に努力すると共に苦情があった場合には、速やかに対応していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		行事案内やお知らせを配布しています。当社のホームページなどで事業所の様子を発信している。	継続し、こまめにホームページに載せていく。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の管理については、定期的に職員に対して注意喚起をしている。	取扱いに十分注意していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		連絡帳や保護者と連絡をとるようにしている。	緊密に連絡をとり、家族様との連携を図っていくようにする。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		お祭り行事等の前にチラシを配布したり、近隣の家には挨拶に行き参加して頂いている。	日々の近隣との関係を有効に行い、行事前には、チラシや近隣への説明と挨拶回りを継続していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		緊急マニュアル・感染対策マニュアル等を整備している。	保護者の方に周知できていないので、周知していけるように工夫が必要。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		施設全体では、年2回児童のみ、毎月訓練内容をかえ、実施している。	今後も施設全体では2回、児童のみ、毎月の訓練内容をかえ、記録に残し行っていく。実施後に、実施内容を配布していただけるように家族様にも周知していけるようにする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年、研修へ参加している。	虐待を防止する為、、全員参加の研修を継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		安全ベルト使用に関して個別支援計画に記載し、連絡帳にも記載している。	面談時に家族様にしっかりと説明を行い、個別支援計画、連絡帳に記載を行っていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		契約時や面談時、保護者から聞き取りで食物アレルギー等の有無を確認している。	食物アレルギーの把握をし対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内でヒヤリハットを作成し共有しているほか、法人内他事業所でのヒヤリハット事例も共有している。	ファイリングし共有していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和2年2月1日

事業所名 オールケア大日(重心外)

保護者等数(児童数)

回収数 42名

割合 95%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	40	1		1		より安全に楽しく過ごせるようにその都度、工夫をしていく。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	37	4		1	男性職員がいればいいなあ	男性職員対応が必要時には、応援要請を対応していく。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	40	1		1		スロープや手すり等の設置等はできている。車椅子の置き場所を工夫を行っている事で動きやすくなっている。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	41			1		保護者様と面談時、送迎時に話をする事で自宅での様子やデイでの様子がわかったりすることで計画に反映していけるように努める。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	39	2		1		毎日、来所される個々の目標を貼りだし自由時間等で支援をし記録している。集団活動では、スタッフ間でよりよい活動をしていけるように話し合っていく。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	16	14	8	地域で交流しているのだけどいい適度に連れて行って下さりありがとうございます。また、ぜひお願いしたいです。されているのかもしれませんが通所している時には聞いたことがありません	社会参加ができる機会を増やしていけるように考えていく。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42					今後も丁寧な説明を行っていく。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	40	2				送迎時や面談時やモニタリングの際に状況、課題を伝えあっていけるように努める。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	42					今後も面談時、送迎時、モニタリングの時に丁寧な対応を心がけていく。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	16	3	3	私が参加できていない私が行事参加できていないので…参加できずにすみません。	たくさんのお家族様が参加できる様に工夫していくように努めます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29	10		3		迅速に対応している。今後も更に丁寧な対応を行っていく。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	42					今後も保護者様との連携をしっかりと情報共有していく。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	34	8			子ども達の活動報告のようなお手紙があれば嬉しい。	ホームページを更新する事を保護者様に伝えて行くと共にホームページの更新を増やしていえる様に努める。
	14 個人情報に十分注意しているか	42					今後も取り扱いには、十分注意していく。
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	2		1		保護者様にどんなマニュアルがあるのかを周知できるように考えていく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	36	4		2		訓練を行っているが全家族様に実施前、実施後のお知らせを配布できるように努めていきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	39	3			高3になって平日の通所を嫌がっています。すみません。	個々での遊びや集団活動を工夫しスタッフ間で話し合っていくよりよい支援にしていくように努める。
	18 事業所の支援に満足しているか	39	2		1		今後も送迎時に保護者様に取り組んだことを伝えていけるように努め、活動等の工夫をしっかりと考えていく。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されている。